

国際自動車整備科		2023年度 授業計画			
時期	1年前期	単元	実習	教科名	シャシ実習 1
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	三級自動車シャシ 整備機器	発行日	2021年11月25日
総時間	20(32)			教科担 当	教科担当
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当 自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの分解・組立・点検等について指導する。					
2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入) 自動車整備士の学習に必要な基礎知識、技術を指導する					
3. 授業の到達目標 (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか) <ol style="list-style-type: none"> 1. 自動車整備に必要な用語を知る 2. 自動車整備に必要な部品名称を読むことができる 3. 自動車整備に必要な部品の作動を実物で確認する。また、作動を日本語で説明できる 4. 自動車整備に必要な整備機器の取り扱いができる。 5. 自動車整備士として必要な安全知識を得る。 6. 自動車整備を行う上で必要となる協力作業を理解する。 					
4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目) 実技試験で60点以上を合格とする。					
5. 準備学習 毎回の授業開始前までに、授業で進む予定のところまでルビを振るなど、声を出して読めるようにしておくこと					

国際自動車整備科

2023年度 授業計画

時期	1年前期	単元	実習	教科名	シャシ実習 1	
6. 授業概要 (時限ごとの主な授業内容)					7. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	■ 車両取り扱い				テキスト	
2	■ サークルチェック、フェンダーカバー、シートカバー、足マット、ハンドルカバー				・三級自動車シャシ	
3	■ 各装置の操作方法、インテリジентキー、エアコン操作,ナビゲーション、な				・整備機器	
4	■ 各装置の操作方法、インテリジентキー、エアコン操作,ナビゲーション、な					
5	■ 各装置の操作方法、インテリジентキー、エアコン操作,ナビゲーション、な					
6	■ 各装置の操作方法、インテリジентキー、エアコン操作,ナビゲーション、な					
7	■ 各装置の操作方法、インテリジентキー、エアコン操作,ナビゲーション、な					
8	■ 部品名の確認					
9	■ 部品名の確認					
10	■ 部品名の確認					
11	■ 部品名の確認					
12	■ 保護具の付け方、ボンネットの開け方、閉め方					
13	■ リフトアップからタイヤ脱着、ローテーション					
14	■ リフトアップからタイヤ脱着、ローテーション					
15	■ リフトアップからタイヤ脱着、ローテーション					
16	■ リフトアップからタイヤ脱着、ローテーション					
17	■ リフトアップからタイヤ脱着、ローテーション					
18	■ 習熟作業					
19	■ 習熟作業					
20	■ 実習テスト					

■ : 対面授業

国際自動車整備科		2023年度 授業計画			
時期	1年前期	単元	実習	教科名	シヤシ実習 1
7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)					
番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック	
	キーロック及びシフトロックの説明 ガレージジャッキを用いてジャッキアップ・ダウン作業 ジャッキアップ リジットラックの高さ	シフトロックとキーロック装置の違いと、その操作方法を説明する。 タイヤは車の重要保安部品の一部であり、摩耗や損傷は走行機能に悪影響を及ぼし且つ事故の原因となる可能性もある。よって、走行距離に応じて定期的に、また前後左右のタイヤに摩耗差ができた場合にタイヤの取り付け位置を変更する必要がある。 ホイールカバー 取り付け時、バルブの位置が裏側に示してあるので確認して付ける。 ジャッキアップ前にホイールナットを半回転緩める。緩め過ぎるとハブボルトのネジ山がつぶれる。 緩める順番は対角に緩める。 締め付け時はトルクレンチを使用して確認を行なう。 ホイールはタイヤが接地状態で少し緩め、上げて取り外す。(ホイールナット破損防止) 取り付け時は浮いた状態でできるだけ締め付けを行い接地後に再度増し締めを行う。 安全作業の為、作業時には必ず声かけを行なう。 ガレージジャッキを下げる時、バルブを急に開けると車両が急激に下降するので危険であることを認知させる。 ジャッキアップはフロント側から行なう。尚、ジャッキアップ時はパーキングブレーキを解除し、シフトをNにして必ず輪止めをしてからジャッキアップを行なう。 (ジャッキ操作時、ジャッキではなく車両が移動するようにする) ジャッキアップポイントに正しくセットして操作する。	ジャッキ操作中にジャッキアップポイントからジャッキが外れ、車両が落下 リジットラックの高さ確認不足のため、互い違いになり、車両が傾いた		
8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)					
実習場			座学教室		